

祝！入賞 ねんりんピックよさこい高知2013

宮城県勢が大健闘

高知県で開かれた「ねんりんピックよさこい高知2013」では、県内各地で24種目のスポーツ・文化交流大会が行われ、わが宮城県選手団127人も日頃の練習の成果を存分に発揮し、健闘した。特に優秀な成績を残した入賞者に、受賞の喜びを聞いた。

「県代表に決まり、ずいぶん練習しました。自己最高のタイムでメダルが取れてうれしいです」

25メートルと50メートルの背泳ぎで目標タイムを2秒ほど縮めて準優勝した。特に25メートルは1位と0.29秒の僅差。手応えを感じたという。

県代表は鈴木さんを含め6人。大会前には合同練習を重ね、チームワークを高めてきた。「いい雰囲気大会に臨めたのも良かった」と振り返る。

「80、90歳代になっても元気に泳いでいる方がいて驚きました。私も負けずに精進し、またぜひ参加したいですね」



13年前に水泳を始め、現役時代は仕事の合間を縫って教室に通い、泳ぎ方を学んだ

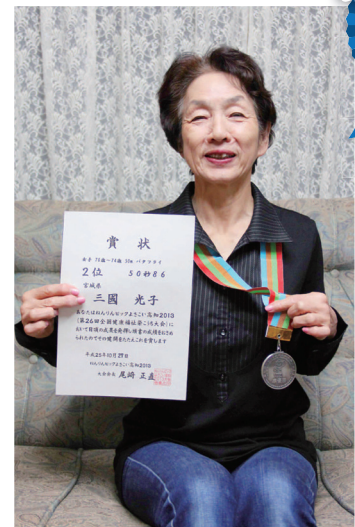
男子25メートル・50メートル背泳ぎ
60～64歳
準優勝

水泳

栗原市 鈴木 誠さん (60)

銅メダルを狙って臨み、目標より上の銀メダルを手にした。「スタートが良く、いつも通りの泳ぎができた。『ヤッター!』という気持ち」と喜ぶ。

水泳を始めたのは57歳。3人の孫のスイミングスクールに付き添い、三國さんも軽い気持ちで通うように。そのうち、「私の方がはまっちゃって」と笑顔を見せる。今では水泳をしないと落ち着かないという。スイミングスクールに週5日通い、2時間泳ぐのが日課だ。三國さんは「水泳が私の健康法」とほほ笑む。



「5年後に75～79歳で入賞したい」と三國さん

女子50メートルバタフライ
70～74歳
準優勝

水泳

石巻市 三國 光子さん (70)

弓道は、勤めていた会社のクラブ活動を見て興味を持ち、30歳で始めた。未経験だったが「やってみると面白くて夢中になって練習した」と当時を振り返る。入部して1カ月がたったころに参加した地域の大会で見事優勝を果たすと、その後も岩手や宮城の大会を中心に優勝の山を築いていった。

今回の受賞について「今までいろいろな大会で賞をもらってきたけれど、一番うれしい。年を取っても的の前に立つと気持ちが若返るので、今後も続けていきたい」と話す。



「何十年も続けてきたことが評価されてうれしい」と喜びの表情を浮かべる

高齢者賞

弓道

柴田町 高山 浩一さん (86)

Bブロックで栃木県、広島市、高知県Bと対戦し、2敗1勝で3位になった。60代前半の若手を中心に16人の選手が交代で出場。監督も兼任したMFの高橋靖さん(70)は「若手主体にパワーのある攻撃はできたが、守備が甘く、優勝を逃した。それでも全員で楽しめた」と話す。

宮城フェニックスは60歳以上のサッカー愛好者が集まり、松島や利府で週1回練習。スポーツ少年団での指導や、試合の審判員として活躍している人も多い。



上段左から大黒秀一さん、高橋靖さん、鈴木力さん、及川修さん、千葉満さん、新田彰さん、菅原謙二さん、菱沼一雄さん、林喜代志さん。下段左から本郷栄一さん、二瓶信幸さん、高橋靖さん、佐々木年徳さん、渡辺勝郎さん、須田清志さん

Bブロック
3位

サッカー

宮城フェニックスサッカークラブ